

9. 印刷

印刷にはユーザがメイン画面で表示している地図を画像出力する簡易印刷と、レイアウト付きの印刷ができる詳細印刷があります。

9.1. 簡易印刷

ユーザがメイン画面で表示している地図を画像としてダウンロードします。

9.1.1. 簡易印刷



地図操作ツールバー上の「簡易印刷ボタン」をクリックします。



ダウンロードダイアログが表示されます。

「開く」をクリックすると、クライアントPCのアプリケーションで画像が表示されます。「保存」をクリックすると保存ダイアログが表示されます。



保存場所・ファイル名を設定して「OK」をクリックすると、ダウンロード完了画面が表示され、メイン画面で表示している地図が画像として保存されます。

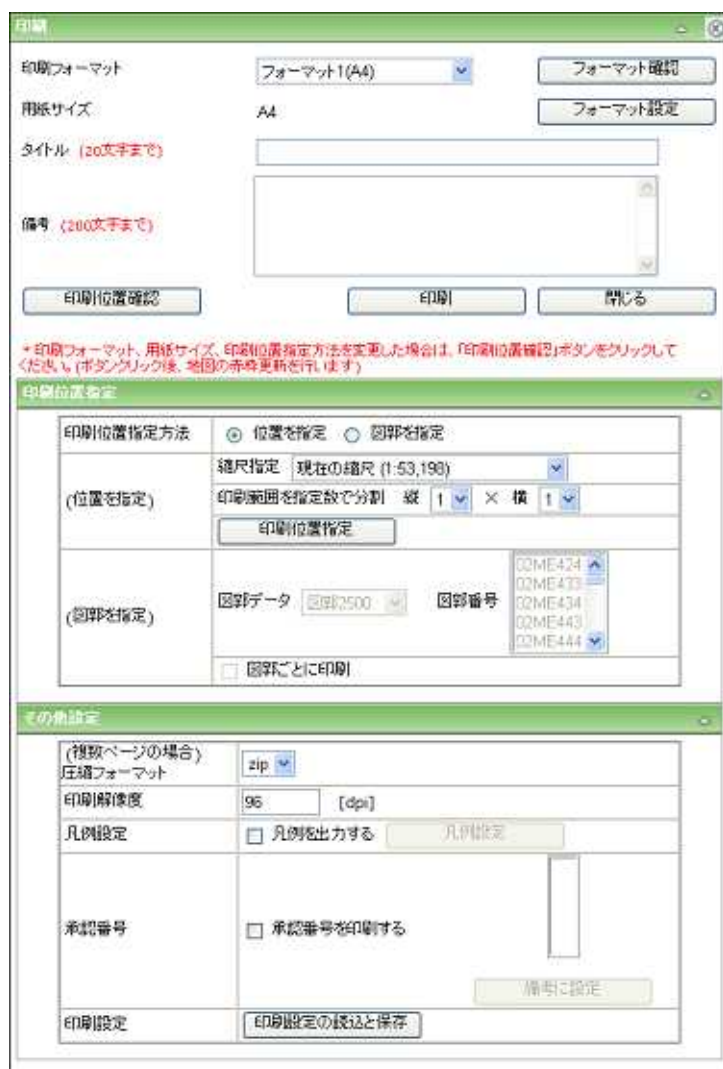
9.2. 詳細印刷

地図印刷用の PDF ファイルを出力することができます。

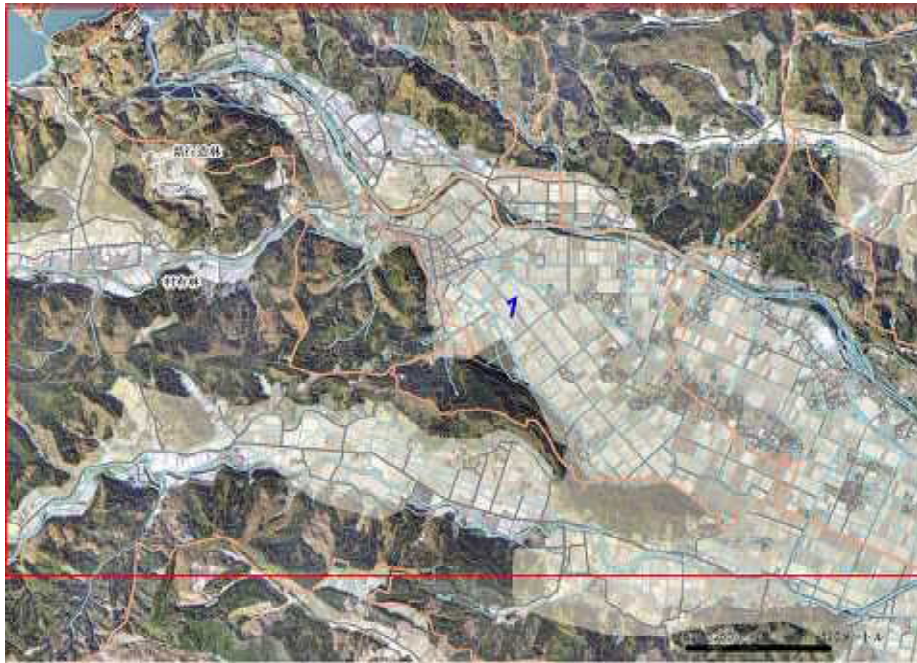
9.2.1. 印刷画面の表示



地図操作ツールバー上の「印刷ボタン」をクリックします。



印刷画面が表示されます。



同時に、マップ上に印刷範囲を示す赤枠が表示されます。

9.2.2. 画面説明(印刷画面)

* 印刷フォーマット、用紙サイズ、印刷位置指定方法を変更した場合は、「印刷位置確認」ボタンをクリックしてください。(ボタンクリック後、地図の赤枠更新を行います)

- 1 印刷フォーマット選択
ドロップダウンリスト
印刷フォーマットを選択します。
印刷フォーマットは印刷レイアウトや用紙サイズが定義されています。新規に印刷フォーマットを追加する手順については9.2.6 印刷フォーマットの設定をご参照ください。
- 2 フォーマット確認ボタン
印刷フォーマット選択ドロップダウンリストで選択されたフォーマットのレイアウトをPDFファイルで確認することが出来ます。
- 3 用紙サイズ
で選択した用紙サイズが表示されます。
- 4 フォーマット設定
印刷フォーマットの保存・削除をおこないます。
- 5 タイトル入力欄
印刷用PDFに表示するタイトルを入力します。タイトルは半角・全角問わず20文字まで入力できます。
- 6 備考入力欄
備考を入力します。備考は半角・全角問わず200文字まで入力できます。
- 7 印刷位置確認ボタン
印刷フォーマット、用紙サイズ、印刷位置指定方法を変更した場合にクリックします。ボタンクリック後、地図上の赤枠が更新されます。
- 8 印刷ボタン
印刷を実行します。
- 9 閉じるボタン
印刷画面を閉じます。
- 10 印刷位置指定
印刷位置指定パネルが開きます。詳細は9.2.3 画面説明(印刷位置設定)をご参照ください。
- 11 その他設定
その他設定パネルが開きます。詳細は9.2.4 画面説明(その他設定)をご参照ください。

9.2.3. 印刷位置指定

印刷位置の指定方法を選択し、条件を入力して印刷位置を設定します。各項目の詳細は以下の通りです。

印刷位置指定

印刷位置指定方法 位置を指定 図郭を指定

(位置を指定) 縮尺指定 現在の縮尺 (1:53,196) ↓

印刷範囲を指定数で分割 縦 1 ↓ × 横 1 ↓

印刷位置指定

(図郭を指定) 図郭データ 図郭2500 ↓ 図郭番号

02ME424 ↑
02ME433 ↓
02ME434
02ME443
02ME444 ↓

図郭ごとに印刷

- 1 印刷位置指定方法ラジオボタン 「位置を指定」/「図郭を指定」から選択できます。
- 2 縮尺指定選択ドロップダウンリスト 印刷される地図の縮尺を選択します。
「位置を指定」を選択したときのみ使用可能です。
- 3 印刷範囲指定数分割ドロップダウンリスト 印刷範囲の分割数を設定します。
「位置を指定」を選択したときのみ使用可能です。
- 4 印刷位置指定ボタン 印刷範囲をマップから設定します。印刷位置指定ボタンをクリックした後、地図上で印刷の左上位置をクリックします。
「位置を指定」を選択したときのみ使用可能です。
- 5 図郭データドロップダウンリスト 図郭データを選択します。「図郭 2500」/「図郭 25000」から選択が可能です。
「図郭を指定」を選択したときのみ使用可能です。
- 6 図郭番号ドロップダウンリスト 印刷する図郭番号を選択します。複数選択することも可能です。
「図郭を指定」を選択したときのみ使用可能です。
- 7 図郭ごとに印刷チェックボックス チェックをONにすると図郭ごとの印刷をおこないます。OFFにすると選択された図郭がすべて含まれる範囲を印刷します。
「図郭を指定」を選択したときのみ使用可能です。

9.2.4. 画面説明(その他設定)

その他項目の設定をおこないます。

その他設定

(複数ページの場合)
圧縮フォーマット ① zip

印刷解像度 ② 96 [dpi]

凡例設定 ③ 凡例を出力する ④ 凡例設定

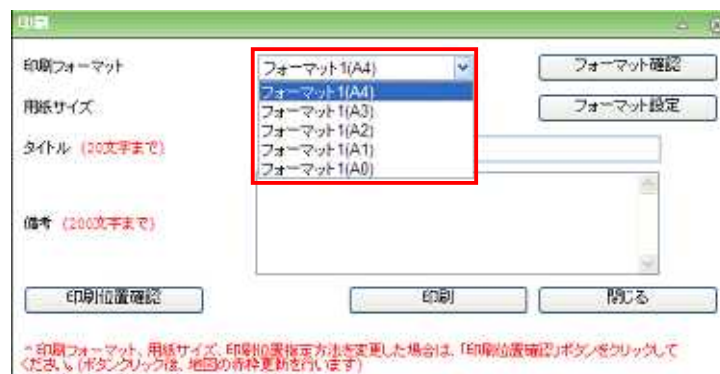
承認番号 ⑤ 承認番号を印刷する ⑥

備考に設定 ⑦

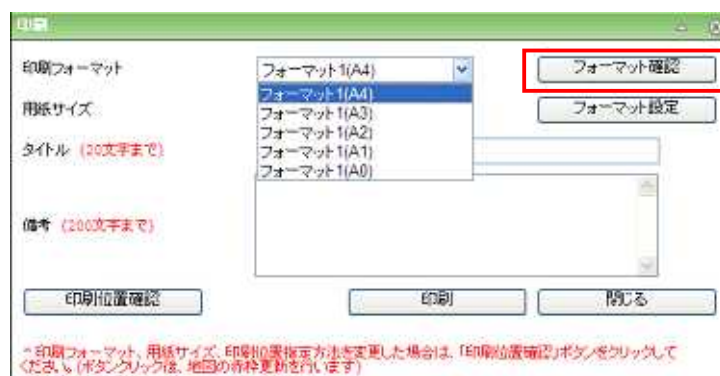
印刷設定 ⑧ 印刷設定の読込と保存

- | | | |
|---|--------------------------|--|
| 1 | 圧縮フォーマット選択
ドロップダウンリスト | 圧縮フォーマットを選択します。 |
| 2 | 印刷解像度 | 作成する PDF の解像度を設定します。 |
| 3 | 凡例出力チェックボックス | 凡例を出力する/しないを切り替えます。 |
| 4 | 凡例設定ボタン | 凡例の設定を行います。 |
| 5 | 承認番号印刷チェックボックス | 承認番号を参照する/しないを切り替えます。チェックした場合、選択した承認番号を備考欄に設定することができます。 |
| 6 | 承認番号リスト | データベースに登録されている承認番号の一覧が表示されます。
承認番号印刷チェックボックスが ON の場合のみ使用可能です。 |
| 7 | 備考に設定ボタン | 選択した承認番号を備考欄に設定します。
承認番号印刷チェックボックスが ON の場合のみ使用可能です。 |
| 8 | 印刷設定の読込と保存 | 印刷設定の読込・保存・削除をおこないます。詳細は 9.2.8「印刷設定管理」をご参照ください。 |

9.2.5. 印刷フォーマットの選択

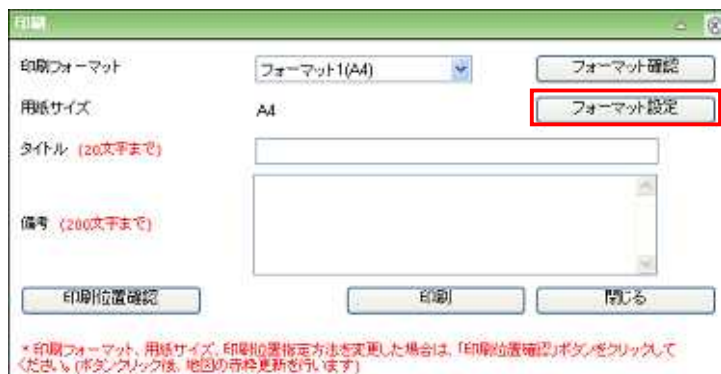


印刷画面の「印刷フォーマット選択ドロップダウンリスト」から印刷フォーマットを選択します。



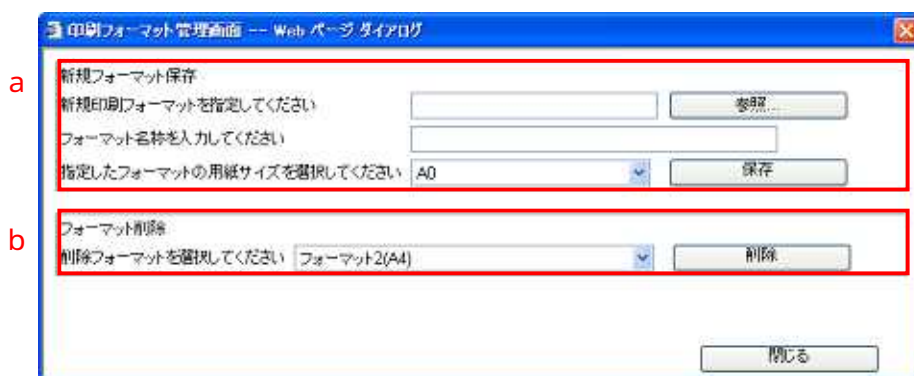
「フォーマット確認ボタン」をクリックすると、印刷フォーマットをPDFファイルとしてダウンロードすることが出来ます。

9.2.6. フォーマットの設定



印刷画面の「フォーマット設定ボタン」をクリックします。

印刷フォーマット管理画面が表示されます。

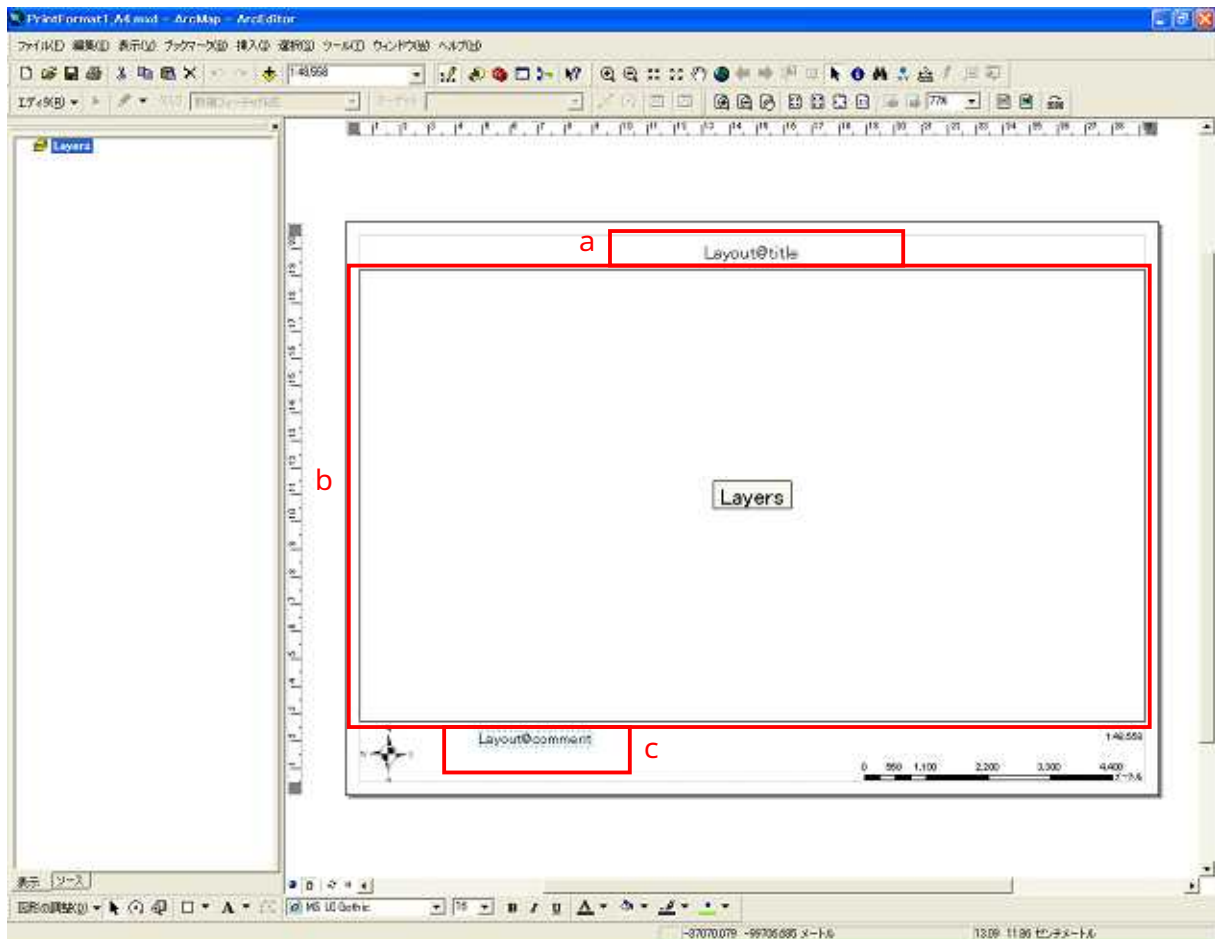


a: 新規印刷フォーマットを保存する場合、印刷フォーマットファイル、フォーマット名称、用紙サイズを設定し、「保存」ボタンをクリックします。

b: 登録済みフォーマットの削除の場合、印刷フォーマット名称を設定し、「削除」ボタンをクリックします。

9.2.7. フォーマットについて

印刷フォーマットは、ArcGIS の MXD 形式のファイルとなります。以下の設定をご確認のうえ、登録してください。



a: タイトル位置

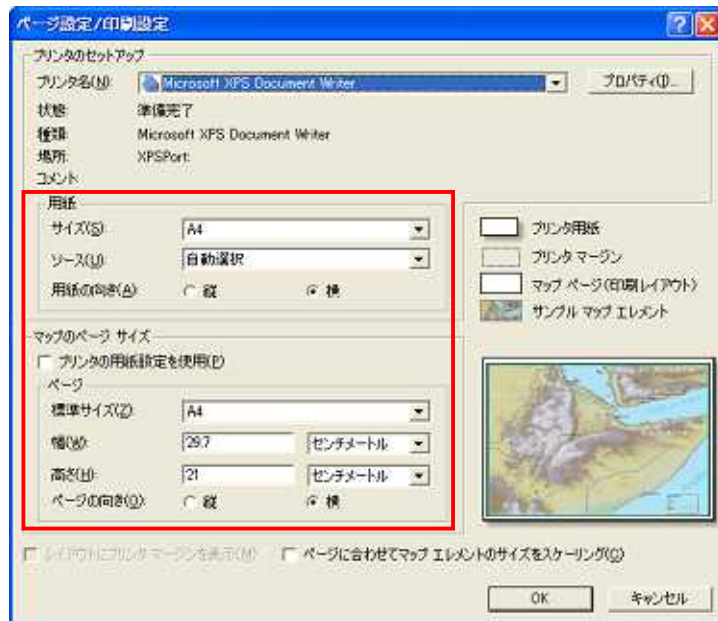
印刷画面で入力したタイトルを印刷する位置を指定します。ArcMap のメニュー「挿入」から「テキスト」を選択して、テキスト要素配置してください。テキストには、「Layout@title」を入力してください。

b: マップ位置

地図を印刷する位置を指定します。

c: コメント位置

印刷画面で入力したコメントを印刷する位置を指定します。ArcMap のメニュー「挿入」から「テキスト」を選択して、テキスト要素を配置してください。テキストには、「Layout@comment」を入力してください。



d

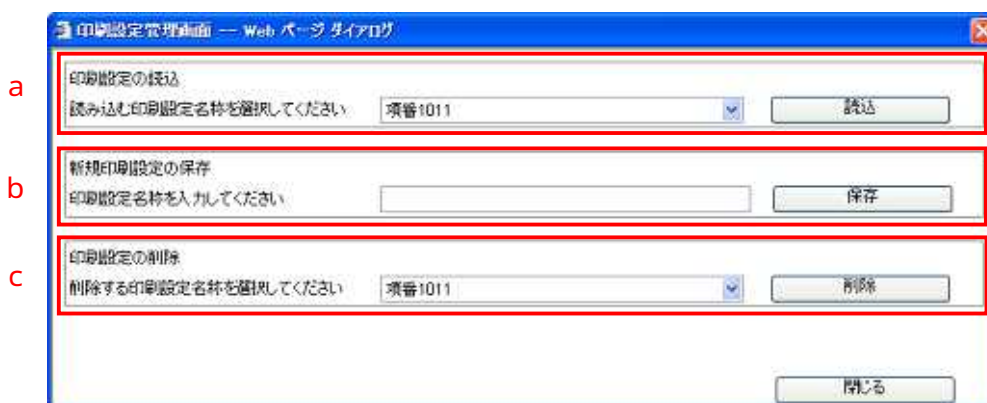
d: 用紙サイズ設定

印刷する用紙サイズ、ページサイズを設定します。ここで指定したサイズを印刷フォーマット登録時の「用紙サイズ」で選択します。

9.2.8. 印刷設定管理



その他設定画面の「印刷設定の読込と保存」ボタンをクリックします。



印刷設定に対する操作を選択します。

a: 印刷設定の読込

印刷設定名称を選択し、「読込」ボタンをクリックすると、登録済みの印刷情報を表示します。

b: 新規印刷設定の保存

印刷設定名称を入力し、「保存」ボタンをクリックすると、印刷画面で設定されている印刷情報が登録保存されます。

c: 印刷設定の削除

印刷設定名称を選択し、「削除」ボタンをクリックすると、登録されている印刷情報が削除されます。

9.2.9. 凡例の設定



その他設定画面の「凡例出力チェックボックス」にチェックを入れ、凡例設定ボタンをクリックします。



凡例設定ウィザードの「凡例生成方法の選択」画面が表示されます。画像ファイルを凡例して指定する場合は「画像を指定」を、新たに作成する場合は「ウィザードで作成」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



「凡例位置の設定」画面が表示されます。凡例を出力する位置を選択し、「次へ」をクリックしてください。



「凡例対象レイヤ設定」画面が表示されます。凡例に出力するレイヤのチェックボックスにチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

で「画像を選択」を選んだ場合、入力は不要です。



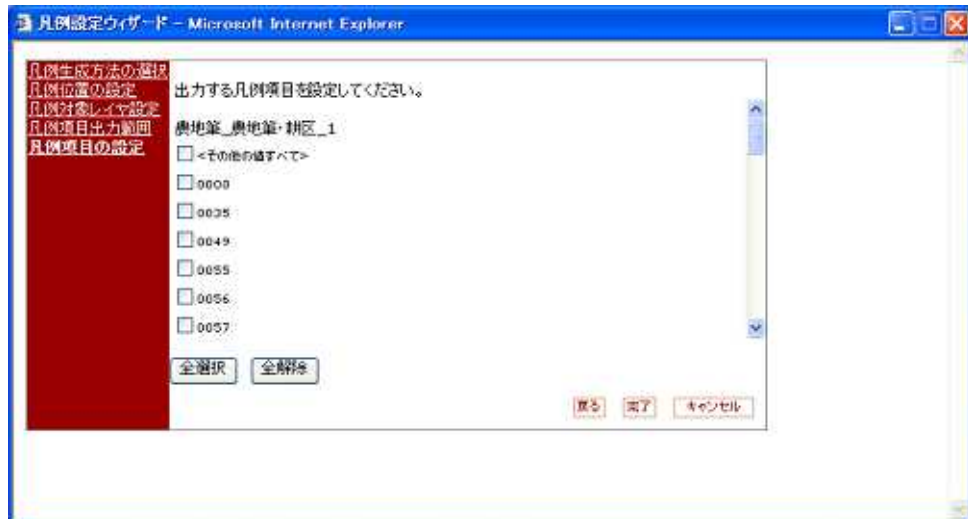
「凡例項目出力範囲」画面が表示されます。「印刷範囲のみの凡例を出力」「データ全体の凡例を出力」から選択します。

印刷範囲のみの凡例を作成は、個別値で色分けをした場合のみ適用されます。

印刷範囲のみの凡例を作成：印刷する地図の範囲に含まれる凡例のみ選択候補とします。

データ全体の凡例を出力：印刷範囲に含まれないシンボルの凡例も選択候補とします。

数値分類の場合は、レイヤ全体の凡例を出力します。



「凡例項目の設定」画面が表示されます。出力する凡例項目のチェックボックスを ON にして「完了」をクリックすると凡例の設定が完了します。

9.2.10. 印刷の実行



印刷画面の「印刷ボタン」をクリックします。



設定範囲が PDF ファイルとして出力されます。

PDF ファイルを任意の場所に保存してください。

印刷範囲を分割していた場合は、複数の PDF を圧縮したファイルとして出力されます。その際の圧縮フォーマットは、印刷画面の「圧縮フォーマットドロップダウンリスト」で選択されたものとなります。

9.2.11. 印刷画面を閉じる



印刷画面の「閉じるボタン」をクリックすると、印刷画面が閉じられます。
同時に、マップ上の出力範囲の赤枠も消去されます。